

一緒に挑戦しませんか！ 漁村のにぎわいづくり！

漁港や藻場を活用した 漁業体験プログラムづくりの手引き



詳しい内容は「漁港や藻場を活用した
漁業体験プログラムづくりの手引き(冊子)」をご覧ください

お問い合わせ

「漁業体験プログラム」で 漁村のにぎわいを創ろう!

第1章 漁業体験プログラム づくりの準備をしよう

漁業体験プログラムを作るためには、漁業関係者だけではなく宿泊施設、飲食店などの地域関係者の協力が不可欠です。まずは中心となる運営組織を立ち上げ、プログラムづくりに向けた活動計画や事業計画を作りましょう!

STEP 01 仲間を集めよう

STEP 02 事業計画を立てよう



第2章 漁業体験プログラムを つくろう

運営組織や事業計画ができたら、漁港や藻場、養殖施設など漁村地域ならではの魅力的な地域資源を活かした体験プログラムを作ってみましょう!

STEP 01 プログラムを作ってみよう

STEP 02 モニターツアーをやってみよう

STEP 03 プログラムを商品化しよう



第5章 心のこもった 「おもてなし」をしよう

どんなに素晴らしいプログラムでも、「おもてなし」の心がなければお客さまには喜んでもらえません。心のこもった最高の「おもてなし」でお客さまに漁業体験プログラムを楽しんでもらいましょう!

STEP 01 「おもてなし」を知ろう

STEP 02 「おもてなし」を実践しよう



- CHECK!
目元から笑顔が作られていますか?
唇の両端(口角)は上がっていますか?
まごころのこもった温かみのある声が出ていますか?



CHECK!
プラス
イメージ

- 相手の目をみて話す
- 笑顔がある
- 背筋が伸びている
- 気持ちに余裕がある
- 状況に応じたお辞儀ができる(会釈、敬礼等)



CHECK!
マイナス
イメージ

- 腕組みをしている
- ポケットに手を入れている
- 背筋が曲がっている
- 視点が定まっていない
- 体が揺れている



第3章 しっかりと安全管理に取り組みよう

漁業体験には、海での事故や飲食時の食中毒など様々なリスクがあります。プログラムの実践では安全・安心が何よりも大事。万全の安全管理に努めましょう!

STEP 01 海での事故やリスクに備えよう

STEP 02 食の衛生管理を徹底しよう

第4章 漁業体験プログラムを実践しよう

体験プログラムが出来上がったなら、いよいよプログラムの実践です。手引きにある4つのモデルプログラムも参考にしながら、みんなでやってみましょう!



モデル①藻場活用編

藻場でのウニ採り・ウニ剥き・ウニ丼づくり

モデル②養殖生け簀簞活用編

養殖生け簀簞での簀簞やり・魚さばき・刺身舟盛づくり



モデル③漁港活用編

漁港内クルージング・岸壁釣り・海鮮BBQ



モデル④代替プログラム編

漁港内施設探検・魚さばき・海鮮丼づくり